

## 会議録

1. 附属機関の名称 : 犬山城管理委員会

2. 開催日時 : 令和3年8月2日(月) 午後2時00分から午後3時00分まで

3. 開催場所 : 犬山市役所2階 201・202・203 会議室

4. 出席した者の氏名

- (1) 委員 日比野良太郎、長谷川良夫、成瀬淳子、宮田昭男、三浦知里、吉田鋭夫  
大沢秀教、白水正、瀬口哲夫  
滝教育長、中村部長
- (2) 執行機関 歴史まちづくり課 中村課長、加藤課長補佐、渡邊統括主査  
犬山城管理事務所 酒向所長、村中副所長、小川
- (3) その他 山田市長

5. 報告事項

- (1) 令和2年度犬山城関連主要事業実績について  
(2) 犬山城入場登閣者数について

6. 議題

- (3) 令和3年度 犬山城関連主要事業(案)について

7. 傍聴人の数 : 1名

8. 会議要旨

- (1) 令和2年度 犬山城関連主要事業実績について

(事務局より資料に基づき、犬山城保存活用に関する事業及び犬山城の管理に関する事業  
について報告)

委員: 入場門ドライミスト設置、管理事務所屋根葺き替え工事はやらなかったのか。

事務局: ドライミスト設置は4月、5月の年度当初に休城しており、歳入も減り歳出を削減するため昨年度

は見送った。管理事務所屋根葺き替え工事は前から計画はあったが、天守や本丸の中を最適化するという中でもう一度見直しを行う予定としている。

委員：コロナによる閉館の場合は管理費が節約できることになるか。

事務局：全体の最適化を図りながら雇用の確保もしつつ、外部の警備会社への依頼は大幅に減らすなどバランスの確認をしながら最後には歳入が多い結果となった。

委員：他の国宝のお城はどのようにしたか。

事務局：コロナ禍において、国宝5城の他の4城の状況はしっかりと把握をしながら努めさせていただいた。県によって対応は様々であるが、緊急事態宣言とかまん延防止だとかが出る都度、その前から城同士の連絡を取りながら行っている。

委員：「新型コロナウイルス感染拡大による対策と事業への影響」の中のひとつに、天守内の観覧人数は混雑状況を見ながら適宜制限等とあるが、密にならないような対策とはどのような状況か。

事務局：コロナ対策で当初は公共施設収容数の入場者数を50%に抑えるため、天守内の入場者数を100人までとしていたが、2メートルの間隔を保つように誘導ポールの設置をしているため、100人でも入れなくなる時は職員が状況を見ながら入場者数を調整するなど適宜運用している。

委員：3の「犬山城の天守防火対策についての意見書」は非常に立派な表だが、やればとても良い反面、相反することも出てくると思うが、この意見書の意味合い、位置付けはどれぐらいのものか。

委員：修理委員会では賛否両論で、今回この調査をした先生からお話を聞き、判断をしていき、併せて文化庁のご指示もいただくことになった。即実行に移すのではなく、色々と検証しながら進めていきたい。大きなところからでなく、先にできるところから始めようと話をした。管理委員会にも話を進めていく。

## (2) 犬山城登閣者数について

(事務局より資料に基づき、前年度比について報告)

## (3) 令和3年度 犬山城関連主要事業(案)について

(事務局より資料に基づき、犬山城関連主要事業(案)の内容について説明)

委員：先回の管理委員会でも話して重複するが、「石垣調査の実施」と「犬山城城郭内樹木剪定伐採」という項目について尋ねたい。策定委員会では犬山城外縁地区の遺構は、全貌が把握できるような顕在化を図ったうえで資料の解明をし、遺構の視認性を確保するための整備を行う必要があるとまとめられている。先般、歴史まちづくり課のほうでは、「丑寅櫓等の周辺ゾーンについても石垣調査をする」「樹木も将来的には剪定する」「草・竹等も整理する」と言っておられたが、考えをお尋ねしたい。

事務局：基本的な考え方は仰る通りで、それを基本的な考え方として、危険度が高いもの、緊急度が高いものを優先的にやっていきたい。

委員：郷瀬川の河口付近にかつて丑寅櫓が所在していたとされている。策定委員会の総合調査では周辺ゾーンに組み込まれていたが、「周辺」ではなく「外縁ゾーン」に組み込んで、補助金を使って、少しでも歴史的景観を復活させてはどうか。ホテルインディゴも出来、名勝木曾川も流れているので歴史と自然の一体感を持たせる意味でも、小さな所だが非常に大事な所ではないか。七曲にも石積みが沢山あるが草で覆われている。

事務局：丑寅櫓から七曲については重要度の高い所だと認識を持って対応したい。

委員：策定委員会の麓委員長は、犬山城のこれからの将来像について造詣の深い先生で、学問的にもまちづくりの観点からも非常に見識のある先生なので、この管理委員会にお加えいただきたい。それから、天守以外の建造物は全部失われている。何らかの形で移築、或いは復元しなければいけない。この管理委員会のメンバーで、他城へ復元事例を見学する機会もあると良い。

事務局：犬山城の管理委員会の専門部会には、「修理委員会」と「城郭調査委員会」があり、どちらもこの秋に任期を終える。次は整備をするためと調査を継続するために新たな専門部会を考えており、麓先生にもご参画いただく予定をしている。その専門部会の委員長になられた先生をこの管理委員会のメンバーとして打診するのでご了承をいただきたい。復元事例の見学については、事務局で事例の調査をしてから皆様へ提示後、日程調整をして実現できるようにしたい。

#### ○その他

※次回の委員会は、事務局の方から各委員の日程を調整し、文書等で連絡し開催する。